

2024年6月6日

各位

会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド  
(OMNI-PLUS SYSTEM LIMITED)  
代表者名 最高経営責任者 (Chief Executive Officer)  
ネオ・プアイ・ケオン  
(Neo Puay Keong)  
(コード番号: 7699 東証グロース)  
問合せ先 株式会社 OMNI-PLUS SYSTEM Japan  
代表取締役社長 重田 直行  
(03-6841-3922)

## (開示事項の経過) 子会社等の異動を伴う株式の取得完了のお知らせ

当社は、2024年3月29日付「子会社等の異動を伴う株式取得に関するお知らせ」において、丞翔国際股份有限公司 (International Material Supplier Co., LTD、所在地: 台湾、以下「IMS社」) の株式取得による子会社化をお知らせいたしましたが、株式取得が完了しましたのでお知らせいたします。

なお、2024年3月29日付の適時開示では、実行日を2024年4月30日(予定)としておりましたが、台湾当局等からの承認が遅れたことにより本日の開示に至りました。

### 記

#### 1. 異動した子会社の概要

名称	丞翔国際股份有限公司 (International Material Supplier Co., LTD)
所在地	(台湾) 台北市 104 中山北路 2 段 46 號 3 樓之 3 (国際経貿大樓)
代表者の役職・氏名	董事長 侯玳梁 (Chairman DL Hou) ※ 当社が任命する代表者に交代予定
事業内容	IT、通信、家電業界向けプラスチック原材料販売及び販売代理業
資本金	210 百万台湾ドル (1,008 百万円)
設立年月日	2009年1月15日
異動後の所有株式数	21,000,000 株 (議決権所有割合: 100.0%)

(注) 日本円の換算は、1台湾ドル=4.80円 (2024年6月5日現在の株式会社三菱UFJ銀行の参考為替相場) により計算しております。

#### 2. 子会社化のスキーム

2024年3月29日付の適時開示後、当社は今回のIMS社取得に関しまして、株式会社日本政策投資銀行 (以下「DBJ」) と東京センチュリー株式会社の連結子会社である Tokyo Century Leasing (Singapore) Pte. Ltd. (本社: シンガポール/以下「TCS」) との共同投資ストラクチャーを活用することといたしました。

具体的には、シンガポールに設立した SPV (特別目的会社) が発行する優先株を DBJ および TCS が引き受けるとともに、普通株を当社が引き受けて当該 SPV が IMS 社の全株式を取得する方法です。なお、このスキームを活用することでも、当社は IMS 社の議決権を 100% 所有することとなります。

事業投資・企業投資への豊富な知見と経験を有する金融投資家である DBJ および TCS との今回の共同投資は、当社の今後の顧客基盤の拡大及び事業強化のために必要な、中長期的に実行期待の可能性のある大型の M&A に向けたモデルケースとしての経験値を蓄積できるだけでなく、今後、様々な資金調達スキームを共同で検討することが期待できることとなります。

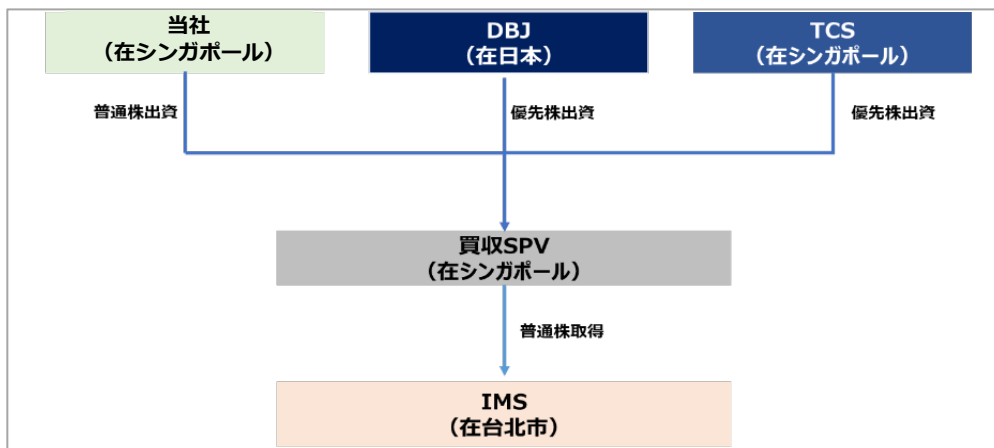
なお、本件につきましては DBJ および東京センチュリー株式会社よりニュースリリースが配信される予定です。

- ・DBJ のニュースリリース：[www.dbj.jp/news/](http://www.dbj.jp/news/)
- ・東京センチュリー株式会社のニュースリリース：[www.tokyocentury.co.jp/jp/ir/release/](http://www.tokyocentury.co.jp/jp/ir/release/)

### 3. 今後の見通し

本件の株式取得による 2025 年 3 月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

ご参考：3社による共同投資ストラクチャー



以 上